

研究実施のお知らせ

2019年10月30日 ver.1.0

研究課題名

気管支内視鏡検査におけるピンポイントバイオプシー症例に関する検討

研究の対象となる方

2017年4月から2019年9月の間に島根大学医学部附属病院で胸部異常陰影を指摘され、気管支鏡検査を受けられた方

研究の目的・意義

レントゲンやCTなどの画像検査で異常を認めたと際、診断を確定するために、気管支鏡を用いて組織採取を行います。気管支鏡検査時に超音波プローブを用いる方法が近年導入され、病変診断率も向上してきました。所見は超音波プローブが病変内に位置している状態（within）と、超音波プローブが病変に接した状態（adjacent to）に分けられます。within が得られない場合、超音波所見を参考に病変を気管支壁越しに生検を行い診断を得る事があります。そのような手技と得られた組織の病理診断の関連性については十分な検討がされていません。そこで、私たちは、超音波を使った検査時に観察した気管支の状態と、検査時に採取した組織の診断の関連性について検討したいと思います。

研究の方法

以下の項目について診療録を参照し後向きに調査を行います。

背景（年齢、性別、喫煙歴、併存疾患、疑い病名）、病変の位置（病変が到達した気管支の分岐次数、枝、胸膜からの距離）、病変の大きさ、使用したファイバー、生検結果、確定診断名、有害事象

検討用のデータには患者さんのIDや名前は含まず、個人情報が出ないようにいたします。また、研究データは島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学内の外部から容易にアクセスできないPCに保管します。PCにはセキュリティを設定し、パスワードで可能な研究者を制限します。外部へ持ち出すことはありません。研究結果は学会等で発表しますが、患者さんの個人情報が含まれることはありません。

研究の期間

調査対象となる期間：2017年4月～2019年9月

データ解析期間：2019年12月から2020年12月

研究組織

この研究は島根大学医学部内科学講座・呼吸器臨床腫瘍学が行います。この研究は次の機関が参加して行います。

研究代表者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部 呼吸器・化学療法内科 診療教授 栗本 典昭

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2020年6月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 栗本 典昭

講座責任者：

島根大学医学部 内科学講座 呼吸器・化学療法内科 磯部 威

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2580 FAX 0853-20-2581